

2019年6月12日
株式会社 百十四銀行

四国アライアンスでのビジネスマッチングAI活用実証実験の開始について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）、阿波銀行（頭取 長岡 奨）、伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、および四国銀行（頭取 山元 文明）は、株式会社NTTデータと共同で、ビジネスマッチング業務におけるAI活用実証実験を開始しますので、お知らせいたします。

四国アライアンスでは、2017年4月から4行のネットワークを活用してお客さまのニーズを繋ぐビジネスマッチング業務を行っています。お客さまの多様なニーズに対応するには、担当者の経験やスキルが必要です。

今回の実証実験では、株式会社NTTデータが提供するOpenCanvasを活用して、お客さまニーズに含まれる「用語」や「文」をAIが解析してマッチング候補先を最適順にランキングし、マッチング業務の効率化や成約率の向上を図ります。

今後はこの実証実験を通じて、精度、セキュリティ、運用面における課題を抽出・検証し、本格的な導入を検討いたします。

記

【ビジネスマッチングAI活用実証実験の概要】

実施時期	2019年6月12日（水）～8月30日（金）
対象	四国アライアンス参加行のお客さまに同意いただいたマッチング情報 ・お客さまニーズ：約2,800件 ・マッチング候補：約40,000社
実証実験	① 各行が保有する企業情報や企業ホームページの記載内容および「売りたい」「買いたい」等お客さまニーズのデータベース化 ② ニーズに含まれる「用語」や「文」をAIが解析し、マッチング候補先を最適順にランキング ③ 商談の状況、結果の管理
活用基盤	OpenCanvas

以上